

# 長野県JAバンクの地域密着型金融の取組状況について (平成21年度)



# 目次

- I 農山村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援  
（長野県JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み）  
・・・P. 1
  
- II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援  
・・・P. 6
  
- III 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ担い手に適した  
資金供給手法の提供  
・・・P. 8
  
- IV 農山村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山村等  
地域育成への貢献  
・・・P. 10

## I 農山村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 (長野県JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み)

- 長野県JAバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成22年3月末時点の長野県JAバンクの農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は593億円(うち農業経営向け貸付金470億円)、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は240億円を取扱っています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンクが窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

## 【資金種類別農業資金残高】

(単位:億円)

種 類	平成22年3月末現在
プロパー資金	449
農業制度資金	144
(農業近代化資金)	(48)
(その他制度資金)	(95)
合 計	593

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

## 【農業資金の受託貸付金残高】

(単位:億円)

種 類	平成22年3月末現在
日本政策金融公庫資金	240

(注)

長野県JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

## 【営農類型別農業資金残高】

(単位:億円)

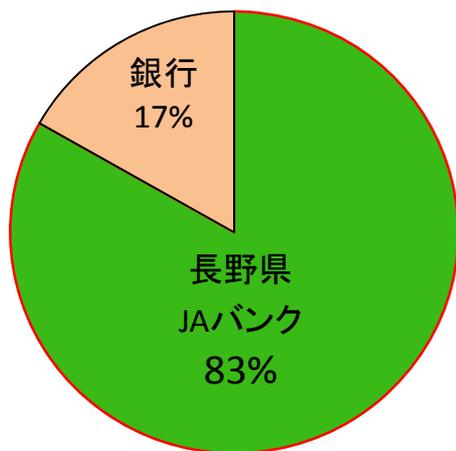
	平成22年3月末現在
農 業	470
穀 作	26
野菜・園芸	155
果樹・樹園農業	43
工芸作物	0
養豚・肉牛・酪農	33
養鶏・鶏卵	2
養蚕	0
その他農業	209
農業関連団体等	123
合計	593

(注)

- 1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
- 3 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

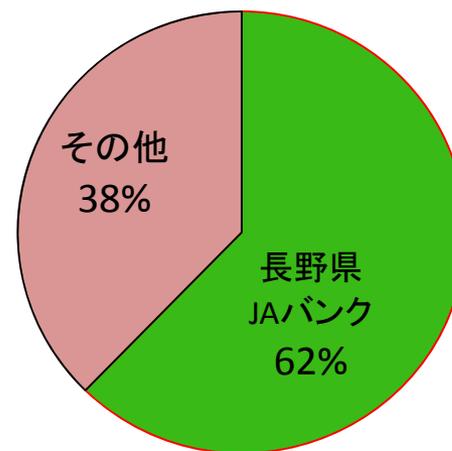
➤長野県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいて県内トップシェアとなっています。

農業近代化資金 融資残高シェア



2009年12月末現在  
出所:農林水産省

日本政策金融公庫 農業資金取扱残高シェア



2010年3月末現在  
出所:日本政策金融公庫 農林水産事業  
「業務統計年報」

## ➤ 担い手のニーズに応えるための体制整備

- ・長野県JAバンクでは、地域の農業者との関係を強化するための体制整備に取り組んでいます。
- ・長野県JAバンクでは、23名の「担い手金融リーダー」を設置し、農業金融にかかる企画推進・管理をはじめ、担い手に対する融資・相談対応等、支所（支店）の活動をサポートしています。
- ・長野県JAバンクでは、本・支所（支店）の農業融資担当者が、営農・経済担当者と連携し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施していきます。
- ・各連合会（JA長野中央会・JA全農長野・JA長野信連）の共通機構である「JA長野県営農センター」を通じ担い手の育成支援を行っております。

## Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

### ➤ 新規就農者の支援

長野県JAバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、新規就農者向け制度資金を取り扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位:件、百万円)

	平成21年度 実行件数	平成21年度 実行金額	平成22年3月末 残高
就農施設等資金	13	49	324
農業経営開始資金	1	5	5
合計	14	54	330

# ➤経営不振農家の経営改善支援

## 【平成21年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位:先数)

		経営改善支援取組先 $\alpha$			ランクアップ率 = $\beta / \alpha$	事業計画策定率 = $\delta / \alpha$
		$\alpha$ のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 $\beta$	$\alpha$ のうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 $\gamma$	$\alpha$ のうち再生計画を策定した先数 $\delta$		
正常先①		102		92	44	
要注意先	うちその他要注意先②	144	21	104	56	14.6%
	うち要管理先③	19	3	14	12	15.8%
破綻懸念先④		87	8	74	41	9.2%
実質破綻先⑤		54	7	42	24	13.0%
破綻先⑥		0	0	0	0	—
小計(②~⑥の計)		304	39	234	133	12.8%
合計		406	41	326	177	10.1%

注)

- ・債務者数、経営改善支援取組先は、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・ $\beta$ には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は $\alpha$ に含めていますが、 $\beta$ に含めていません。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
- ・ $\gamma$ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。

## Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

### ➤ 負債整理資金による経営支援

長野県JAバンクでは、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

#### 【平成21年度負債整理資金の貸出実績】

(単位:件、百万円)

資金名	平成21年度 実行件数	平成21年度 実行金額	平成22年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	1	47	182
畜産特別資金	14	511	871
その他	67	406	3,026
合 計	82	964	4,078

## ➤ 農業融資への利子助成の実施

### ＜JAバンクアグリサポート利子助成事業＞

- ・JAバンクでは、農業者に対する、JA農機ハウスローン・JA農業アグリマイティーローン・スーパーS資金等の融資について、JAバンクアグリ・エコサポート基金による最大1%の利子助成を行い、担い手をサポートしました。

平成21年度実績 県下652件／12百万円

### ＜JAバンク農業資材高騰対策利子助成事業＞

- ・生産資材等の高騰により、農業経営に影響を受けている農家組合員の運転資金の借入に対して0.5%の利子助成を行いました。

(農林中央金庫も同率の0.5%で利子助成を実施)

平成21年度実績 県下7,999件／102百万円

## IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等 地域育成への貢献

➤長野県JAバンクでは、災害等による被災者・農産物価格の低迷等への対策資金を創設し資金支援を行っております。

・台風・自然災害等による被災者に対する資金支援。

平成21年度末貸出残高 県下106件／224百万円

・生産資材の価格高騰や農産物価格の下落に対する資金支援。

平成21年度末貸出残高 県下627件／644百万円

## ➤JAバンク食農教育応援事業の展開

- ・JAバンクでは、食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子どもの農業に対する理解の深耕、農業ファンづくりや地域の発展に貢献することを目的に、平成20年度から「JAバンク食農教育応援事業」に取り組んでおります。
- ・「食農・環境保全・金融経済」をテーマとする、小学生向けオリジナル教材本「農業とわたしたちの暮らし」を、長野県JAバンクを通じて、県下の小学校353校へ、25,560セット贈呈し体験学習等の学校での取り組みにも協力しております。